

ザンビアに行ってきました！

～みんなにも知ってほしいことがあります～

目的: 目的: 写真や映像を通して、ザンビア国の様子(自然・生活・文化など)を知り、沖縄との共通点や相違点について考えることができる。
異文化理解を通して、文化を認め合い互いの価値観を尊重する態度を養う。

対象: 小学校3年～6年

時間: 2時間(45分×2)

準備する物: フォトランゲージ用の写真・付箋紙・パソコン・テレビ

学習の流れ

時間(分)	学習者の活動	進め方とポイント
授業1		
導入 (10分)	・「クイズで知ろう! Zambia !!」に個人で挑戦する。(Yes・No クイズ 30問) ・本時のめあてを確認する。	・問題数が多いので、直 感で Yes・No を決める よう声かけをする。
展開 (30分)	・4～5人の小グループをつくり、フォトランゲージを行う。＜写真を6種類用意＞ ※小グループでの話し合い…10分。 気づいたり考えたりしたことを、付箋紙にまとめさせる。 ※付箋紙にまとめたことを、全体でシェアリング。各グループ発表…全体で20分	・写真は多めに用意し、2種類に挑戦したいグループにはすすめる。 ・「見て気がついたこと」「感じたこと」は区別して書くよう指示する。
まとめ (5分)	・全体で共有した際の感想を伝え合う。	・お互いの発表を意識して聞くようにさせる。
授業2		
導入 (1分)	導入 1分 ・めあてを再確認する。	
展開 (34分)	展開 34分 ・クイズやフォトランゲージから想像を膨らませていたことを、自作したPPT(写真・映像)を見て確認する ・クイズの解答を行う。	・必要に応じて、説明を加えていく・ワークシートにメモを取らせる。
まとめ (10分)	まとめ 10分 ・本時の学習の感想をまとめる。(一番ビックリしたことや、更に調べてみたいこと等) ・感想を伝え合う。	・沖縄との相違点や共通 点も確認しながらふり 返らせる。

学習後の展開

- ・ザンビア共和国との相違点や共通点より、広い視野で世界の国々に目を向けていけるように支援する。
- 個人で調べてみたい国を決定する。→ 他教科等の学習で併せて調べ学習を実施する。

例: 6年…社会科「世界の中の日本」 外国語活動「Where do you want to go ?」

4年…社会科「世界とつながるわたしたちの県」



クイズで知ろう Zambia! Yes・Noクイズ

名前

※ どちらかに○をつけましょう。

国土	①ザンビアは内陸国で、周りに5つの国と国境を接している。	Yes ・ No
国名	②ザンビアという国名は、川の名前に由来している。	Yes ・ No
国名	③ザンビアの正式国名は、「ザンビア王国」である。	Yes ・ No
面積	④ザンビアの国土は日本とほぼ同じくらいの大きさである。	Yes ・ No
人口	⑤ザンビアの人口は、日本の約1/10である。	Yes ・ No
歴史	⑥ザンビアは今から50年前の1964年、フランスより独立した。	Yes ・ No
気候	⑦ザンビアはジャングル地帯が多く一年中雨が良く降り暑い。	Yes ・ No
お金	⑧ザンビアの紙幣は9種類あるが、裏面全てに動物が描かれている。	Yes ・ No
衣	⑨ザンビアの女性は、エプロンやスカートととして腰に一枚布を巻いている人が多い。	Yes ・ No
食	⑩ザンビアの主食はジャガイモの粉で作られた「シマ」という食べ物である。	Yes ・ No
食	⑪ザンビアの食作法はイギリスの影響を受けて、ナイフ・フォークで食べる人が多い。	Yes ・ No
住	⑫郊外に出るとマッシュルームハウスという局面の家がある。	Yes ・ No
宗教	⑬ザンビアの人々の宗教は、イスラム教徒の方が多い。	Yes ・ No
自然	⑭ザンビアには世界三大瀑布の「ビクトリアフォールズ」があるが、 滝の上では人が泳いでもよいプールがある。	Yes ・ No
資源	⑮ザンビアは銅の産地で有名だが、その銅は日本の10円玉にも使われている	Yes ・ No
寿命	⑯ザンビアの平均寿命は、60歳である。	Yes ・ No
生活	⑰ザンビアには、1970年代を始めたとしてヨーロッパ 諸国の車が多く走っている。	Yes ・ No
栽培	⑱ザンビアでは「マンゴー」や「パパイヤ」が栽培されている。	Yes ・ No
他	⑲ザンビアで人気のあるスポーツは「バスケットボール」である。	Yes ・ No
他	⑳ザンビアの国旗が世界に向かって示された最初の方は、50年前 の東京オリンピックの閉会式である。	Yes ・ No



クイズで知ろう Zambia! Yes・Noクイズ

★解答★

①	No	内陸国で8つの国と接している(タンザニア・マラウイ・アンゴラ・ジンバブエ・ナミビア・モザンビーク・コンゴ民主共和国・ボツワナ) 南半球なので季節は日本と逆。
②	Yes	ザンビアの西部から東のモザンビークに流れるザンベジ川は、ザンビアの南側の国境となっている重要な川。
③	No	「ザンビア共和国」選挙で選ばれた大統領が元首を務める。
④	No	日本の約2倍 ザンビアの総面積 752,614 km ² ・ 日本の総面積 377,914 km ²
⑤	Yes	日本の約1/10 ザンビアの人口約1,300万人 ・ 日本の人口約1億3,000万人
⑥	No	1964年にイギリスより独立した。公用語は英語。
⑦	No	熱帯性気候だが、高地ではそれほど暑くない。雨季と乾季がある。
⑧	Yes	9種類全てに動物が描かれている。 (クーズ・シマウマ・アフリカキリン・アフリカウ・ツチバ・ライオン・ヤマアラシ・クロリーチュエ・ヒョウ)
⑨	Yes	チテンゲと呼ばれている。チテンゲは赤ん坊をおぶうのためにも使われている。
⑩	No	主食はシマとよばれるが、原料は白いとうもろこし「メイズ」で作られる。
⑪	No	手食が多いです。スープを飲む習慣はないようです。
⑫	Yes	木やわら等を利用した、手作りのマッシュルームハウスが多く見られる。
⑬	No	8割近くがキリスト教徒。他イスラム教・ヒンドゥー教など。
⑭	Yes	自然のプールがある。「世界一危ないプール=デビルズプール」と呼ばれている。
⑮	Yes	日本の10円玉にも使われてる。北部のコッパーベルト地帯が有名。
⑯	No	平均寿命は46歳(2010年国連人口基金統計)。HIV陽性者は成人の7人に1人で、「エイズ遺児」も推定で約69万人いる。商店街や学校には、HIV啓発の看板が見られる。
⑰	No	日本の中古車がとても多い。日本と同じ左側通行であること、日本車は故障が少ないことから人気。
⑱	Yes	果物も多く栽培され、他にバナナやパイナップルも採れる。
⑲	No	今、人気のスポーツは、サッカー・バレーボール・野球など。
⑳	Yes	独立した1964年10月24日、東京オリンピックの閉会式で用いた。ちなみに開会式では国名は北ローデシアだった。

①



②



<解説>

- ① ・左写真…手食文化圏であるザンビアでは、食事の前に丁寧に手を洗う。レストラン等の入り口には手洗い場が設置されている。食事(手食)は宗教上右手が多い。庶民は一日二食。
- ・右写真…郊外のホテルのベッド上に設置されていた蚊帳。結び目はずし広げて使用。蚊による伝染病をふせぐため。虫除けスプレー等は必需品。
- ② ・左写真…ザンビアの主食である、「シマ」を作っている写真。原料は白トウモロコシの粉でメイズという。お腹はふくれるものの、栄養価は高くなく栄養失調率が高い。
- ・右写真…青年海外協力隊の指導の下、モリンガの石鹸を作っている写真。地産地消を目指し、コミュニティの中で生産・販売されている。



<解説>

上:リビングストンにあるボランティアで運営されている「コミュニティースクール」。下級生は 建物に入りきれず、このような青空の下で学習している。教師の話の内容(英語)がまだ理解できていなかったり、学習ルールが浸透されていなかったりで、とても騒がしかった。

下:郊外を歩いている親子。頭に物をのせて、背には赤ちゃんをおぶって器用に歩いている。腰に巻いている布を「チテンゲ」と呼び、一枚の布からなっている。赤ちゃんをおぶっている布も 頭に巻いている布もチテンゲで広く活用されている。昨今日本の中古車が増えているとのこと。